

大交流時代への新たな航海!

～海・しま・大地とひとが奏でる活みなぎるまちづくり～

広報 ひらど

Hirado City Public Relations



中世から続く 歴史ある平戸くんち

Contents

水ピンチ! 節水にご協力を!	▶ P02	平戸遺産～平戸の深い歴史を知る資料～	▶ P26
特集◎守るべきもののために◎	▶ P03	平戸オランダ商館風説書、おしえて年金	▶ P27
平戸市の台所(財政)事情を		12×おらんだ2007	▶ P28
お知らせします	▶ P14	「生涯学習都市宣言」	▶ P30
まちのひとびと	▶ P18	多重債務	
受章(賞)おめでとうございます	▶ P20	『一人で悩まず、まず相談しよう』	▶ P31
まちのできごと	▶ P22	平戸市からのお知らせ	▶ P32
みんなの図書館	▶ P24	情報ひろば	▶ P34
サン・ケア平戸通信	▶ P25	人口の動き・編集室からひとこと	▶ P36

2007
December
12
平成19年

No.027

Hirado City Public Relations



Hirado city Public Relations
2007.12 VOL.27
広報ひらど 平成19年12月号

100

古紙配合率100%再生紙
大豆油墨を使用しています。

【編集・発行】平戸市総務課 〒859-5192 長崎県平戸市若の上町1508番地3
TEL/0950-22-4111(代) FAX/0950-22-5178 ■URL http://www.city.hirado.lg.jp
■E-mail kouhou@city.hirado.lg.jp ■印刷/有会社社ケンホウ印刷

潮風薫る生月の海岸線を、走り抜けてみませんか!

参加者大募集!

申込期限
12/28(金)

いきつきロード2008大会

1.5kmから10kmまで、22のクラスに分かれ走ります。



2008.2.10[日]午前10時からクラス別に順次スタート

【申込方法】生涯学習課、各教委分室に備えている所定の申込用紙(払込取扱票)に必要事項を記入の上、参加料を郵便振込にて入金してください。
※誓約書(氏名欄)に署名・押印が無い場合は受理できませんのでご注意ください。
※大会に関する詳しい内容や申込方法につきましては、大会実行委員会までお問い合わせください。
お問い合わせ
いきつきロード実行委員会(教委生月分室内)
☎53-0541 FAX26-5017



◎今月の表紙

10月24日から27日までの4日間、「平戸くんち」が行われました。25日には亀岡神社で、ジャ踊りや獅子舞などが奉納され、神輿を引き連れた御神幸行列が商店街を練り歩きました。訪れた観光客や市民のみなさんは、ジャ踊りの勇壮な姿や、獅子舞の息の合った見事な動き、珍しい武者行列に目を見張っていました。



◎人口の動き

■平戸市人口/38,395人(-30)
男性/18,077人(-12)
女性/20,318人(-18)
■世帯数 14,545戸(±0)
※()は、前月との比較
平成19年11月1日現在

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%
平戸市役所も参加しています。

Editorial

編集室からひとこと

少子高齢化や若者の流出の波は、消防団にも影響を及ぼしていました。そんな中、女性消防団の誕生という嬉しいニュース。今月号では、私たちの暮らしを守り続ける消防団にスポットを当てています。火災や災害は、どこか他人事に思っ
てしまいがち。しかし、一瞬の不注意や気のゆるみが全てを失うきっかけになるかもしれません。日ごろからの心がけが大切だと改めて感じました。

以前、知人に聞いた話ですが、昔は水道が自宅まで通っていなかったため、近くの川まで水を汲みに行っていたそうです。この水汲みの作業が大変だったので、当時は無駄のないように水を使ったと話していました。現在は、蛇口をひねると、いつでも水が使用できるので、ついつい余分に水を使いがちです。現在、市の貯水施設の貯水量が大幅に減少しています。節水のご協力をお願いします。

「守る」という決意のもとに。
僕らは走り続ける…。

守るべきもののために

For the things we ought to protect

尊い命と大切な財産、そして愛する郷土を守るため、
地域に根付いた活動を行っている消防団員、
そして、昼夜を問わず活動している消防職員。
私たち市民の暮らしを守り続ける彼らの活動に迫る。

平戸市渇水対策本部を設置

水ピンチ！ 節水にご協力を！

このところの少雨により、貯水施設(ダム・ため池)の貯水量が大幅に減少しています。過去10年の平均降水量と比較しても、3か月平均(8月～10月)で44.5%と半分にも満たない少ない降水量となっています。長期予報でも少雨傾向との情報であり、依然として貯水施設の貯水量が大幅に回復するほどのまとまった雨は期待できない状況です。

このようなことから、市では、11月12日に「市渇水対策本部」を設置しました。

状況を地区別に見ますと、市内でも特に水源に乏しい平戸地区の下中津良町以南の地域(一部の地域を除く。)にあっては、先月より水道の水量を弱める調整をやむなく実施しています(この地域では、現在、地下水を主水源として供給しています)。

また、平戸・北部地区、生月地区が共に残り約90日分(H19.11.22現在)の水量となり、深刻な状況となっています。一方、田平・大島地区などは、ダム水量なども十分あり当面は支障がないものと判断されます。

水道局では、当面の対策として、防災無線や広報車を使つての広報活動、大量使用施設への周知活動などを継続していきますが、今後も少雨傾向が続くと、年内にも時間給水制限などの対策を行わなければならない地域もでてくることが予想されます。少しでも現在の給水体制を維持するために市民のみなさん一人ひとりの「節水」への取り組みが必要不可欠となってきます。市民のみなさんには大変ご迷惑をおかけしますが、「節水」につきまして当分の間ご理解とご協力をよろしくお願いします。

お問い合わせ 市水道局(☎22-3838)

貯水率(H19.11.22現在)

地 区	貯水施設名称(位置)	貯水率
平 戸	神曾根ダム(下中野町)	72.6%
	箕の坪ダム(下中野町)	62.7%
	大元兼用池(下中津良町)	21.3%
	川内兼用池(東中山町)	10.0%
	福良兼用池(野子町)	39.6%
	早福砂防ダム(早福町)	3.2%
生 月	神の川ダム(南免)	51.3%
	桜川ダム(南免)	73.3%
田 平	久吹ダム(福崎免・岳崎免)	73.0%
	東流川砂防ダム(前平)	84.7%
	轟川砂防ダム(的山川内)	98.0%

※市水道局では、市ホームページで随時各貯水施設の貯水率を公開しています。最新の貯水率を調べる場合にご利用ください。(トップページ)→「くらしの便利帳」→「水道」→「貯水率情報」)
URL <http://www.city.hirado.nagasaki.jp/>

降水状況(観測地点:平戸)

	8月	9月	10月	合計
平均(過去10年)	275.7mm	247.5mm	111.2mm	634.4mm
平成18年	247.0mm	371.0mm	30.0mm	648.0mm
平成19年	87.5mm	125.0mm	69.5mm	282.0mm
対平均降水比	31.7%	50.5%	62.5%	44.5%

(引用:気象庁ホームページ)

家庭でできる節水方法

1. お風呂では

- ①残り湯を捨てずに再利用(ふき掃除や洗濯など)しましょう
- ②お湯の温度を下げるために水を使うことは水の無駄になりますので、沸かしすぎに注意しましょう
- ③浴槽に入ったときお湯があふれ出ないように、適量の水を使うよう心がけましょう

2. 台所・洗面では

- ①食器や野菜を洗うときは、ため洗いを行いましょう
- ②歯磨きのときは、コップに汲んで行いましょう

3. その他

- ①洗車の水はバケツに汲んで行いましょう
- ②日ごろから水を流しっぱなしにせず、こまめに止めながら使うよう心がけましょう



▲貯水率21.3%を切った大元兼用池

消防組織の充実 指揮系統の一本化

田平出張所の本市への移管、大島出張所の開所により今年10月、市内全地区に常備消防が配備された。

また、消防団も市町村合併を機に各地区の消防団を統合、平戸市消防団として新たに発足し、地域に根付いた活動を展開している。

市町村合併による指揮系統の一本化、そして、消防組織の充実。市民の安全を守るため、今、平戸市の消防機関は、新たなスタートを切った。



市消防本部・1署・4出張所体制で新たにスタート

消防。「消防は、その施設及び人員を活用して①国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、②水火災又は地震等の災害を防除し、及びこれらの災害に因る被害を軽減することを以って、その任務とする。」と消防組組法第1条にあります。私たちが住むまちの安全は、消防本部・署や一般住民による消防団によって守られているといっても過言ではありません。平成17年10月の市町村合併

常備消防と消防団

常備消防とは、市町村にある、いわゆる消防本部・署やその出張所の中で、それぞれ専任の職員が勤務していま

す。消防本部は、消防の任務を遂行するために必要な予算、庶務、企画立案、人事などを行います。消防署や出張所は、第一線の消防防災活動部隊としての役割を果たし、火災、災害、人命救助に直接携わり、火災予防活動などを行います。



消防機関の概要

市長

非常備の消防機関

消防団

消防団は、主として火災の警戒および鎮圧、そのほか災害の防除、および被害の軽減などの消防活動に従事する市の公的な機関です。

常備の消防機関

消防本部

消防本部は、消防の任務を遂行するために必要な予算、庶務、企画立案、人事などを行います。

消防署

消防署は、第一線の消防防災活動部隊としての役割を果たし、火災・救急、災害、人命救助に直接携わり、火災予防活動などを行います。



▲9月4日に行われた集団事故想定訓練での訓練の様子。市消防本部では、さまざまな事故や災害を想定しながら、年間を通して訓練に励んでいます。



各市町村の常備消防とともに、消防機関の一つとして、ほとんどすべての市町村に設置されているのが消防団です。消防団は、本業を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の崇高な精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活躍しているボランティア精神を持った組織です。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を修得し、火災発生時の消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救護活動、警戒巡視、災害防ぎょ活動などに従事し、地域住民の生命や財産を守るために活躍しています。

消防団員と消防職員は、消火活動や救助活動を行う中で、いわゆる部隊行動をとり、厳格な指揮系統のもとで活動します。消防本部・署と消防団は例えるならば、車の両輪。どちらが欠けても、また、バランスが悪くても前に進むことはできません。消防のプロフェッショナルである消防職員と、地域に根付いた幅広い活動ができる消防団員の献身的な活動によって、私たちの安全で安心な暮らしが守られています。

TALK INTERVIEW



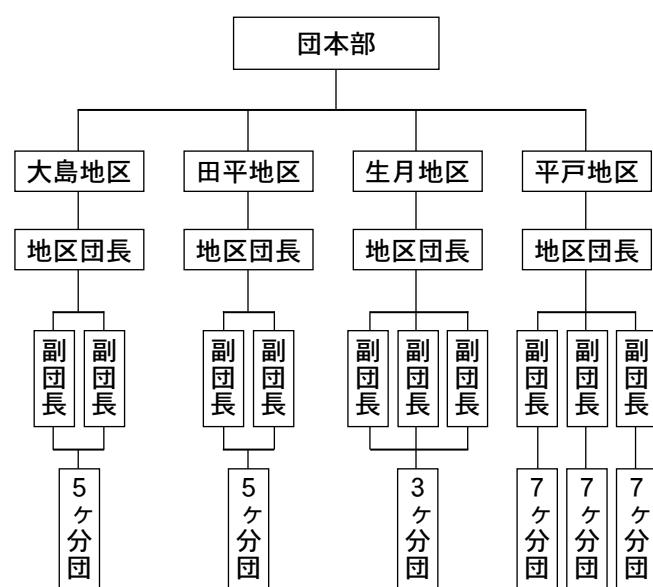
平戸市消防署大島出張所
川村茂実所長
かわむら・しげみ(54)紐差町

大島地区は、防災に対する住民のみなさんの意識が非常に高く、驚いています。今まで住民のみなさん自身で活発な防災活動を行ってきた成果ではないでしょうか。大島出張所としては、消防団をはじめ、住民のみなさんと常に連携を図り、訓練を重ね、防災・救急活動に取り組んでいきます。



平戸市消防団大島地区
村井美則地区団長
むらい・みのり(71)大島村的山川内

大島地区の生命と財産を守るため、悲願の市消防署大島出張所が開所され、とても心強く感じています。消防団としては、これまでは、我が村は我が村で守るという気持ちで頑張ってきましたが、これからは、大島出張所と固く手を結び、連携して防災活動に取り組んでいきたいと思っています。



※平戸市消防団は、1 団 4 地区 34 ケ分団で構成され、実員 1,039 人 (条例定数は 1,079 人) の団員が所属しています。このうち、女性団員 (12 人) は、団本部に所属しています。



また、平常時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動などに従事し、地域における消防力・防災力の向上において重要な役割を担っています。

そこで、忘れてならないことは、消防団員はそれぞれ自営業や会社員などの本業を持っているということです。消防本部、消防署などの消防専門職員を要する機関とは違い、消防団員は、非常勤特別職の地方公務員である一方、自らの意思に基づく参加、すなわちボランティアとしての性格も併せ持っています。「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神と、郷土をこよなく愛する郷土愛が、消防団員の活動の源なのです。

深刻化する団員数の減少

全国には約 3 千の消防団があり、約 91 万人の消防団員がそれぞれの郷土のために日夜活動しています。

しかしながら、近年、社会情勢の変化に伴い、新たに団員として参加する若年層が全国的に年々減少しています。本市においても、就職難による若者の流出や、被雇用者増加による団員の減少などにより、団員の確保が年々難しくなっており、団員の条例定数を満たしていない状況が続いています。

また、団員の年齢構成は、30 歳未満の団員の割合が減少する一方で、40 代や 50 代以上の割合が増加するなど、消防団においても高齢化が進行しているのが現状です。本市に



地域の生命と財産を守る消防団

消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために組織された一般住民による消防機関。

火災や災害発生の知らせを受ければ、昼夜を問わず現場に駆けつける。

地域に根付いた幅広い活動を展開し、災害現場の最前線で活躍する消防団に迫る。



消防のルーツは江戸時代

消防のルーツは、今から約 270 年前、江戸時代にまでさかのぼります。江戸時代には、有名な「いろは 48 組」などの町火消をはじめ、大名火消、定火消といった消防の組織があり、それぞれ消火活動に従事していました。定火消は、火事が起きたらすぐ出動できる常備消防の元祖となるもので、現在の消防本部・署にあたります。一方、町に密着し

2つの顔を持つ消防団員

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎよ活動などに従事し、地域住民の生命や財産を守るために日々活躍しています。

た町火消は、とび職などの仕事を持っていたことを考えると今の消防団の前身ともいえる組織でした。その後、これらの消防組織は、時代に即したさまざまな変遷を経て、今日に至っています。

平戸市消防本部が毎年発行している「平戸市消防年報」によると、平戸市で初めて消防組織が誕生したのは明治 10 年 4 月。私設消防組が「柄長組」(当時の消火作業の道具として、水を汲む桶に長い棒を付けた道具を使用していたためこう呼ばれた)として発足したとあります。それから柄長組は、火消組への改名、消防組発足、警防団令施行による警防団発足、勅令消防団施行により警防団を解団し消防団となるなど、時とともにその姿を変えてきました。



平戸市消防団
生月地区第 3 分団班長
金子 証 さん
かねこ・いさむ (51) 生月町山田免

消防団は、コミュニケーションの場でもあり、地域の情報を多く得ることができます。それが、地域に根ざした活動の根幹となるものです。地域防災の意識を高めるため、消防団は常に先頭に立ち、地域のために努力しています。



平戸市消防団
田平地区第 5 分団長
川畑 浩幸 さん
かわばた・ひろゆき (53) 田平町小崎免

地域のために、仲間と一緒に一生懸命活動に取り組んでいます。消防団の活動は、常に危険と隣り合わせですが、団員の安全を第一に、そして火災や災害を最小限に抑えるため、日ごろの訓練は欠かせません。

CHAPTER 03

消防団の歴史に 新たな1ページ 女性消防団員の誕生

今、全国的に活躍が目される女性消防団員。10月2日、平戸文化センターで、女性消防団員入団式が行われ、市で初めての女性消防団員が誕生した。

長い消防団の歴史に新たな1ページを刻んだ女性消防団員に、市民の大きな期待が寄せられている。

本市で初めての 女性消防団員が誕生

近年、女性の消防団への参加が増加しており、約1万人を超える女性消防団員が全国で活躍しています。これまでになかった女性の参加が組織の活性化を図り、地域のニーズによりきめ細やかに対応できる有効な施策として、その動きが全国的に広まっています。女性ならではの配慮や優しさが必要とする公共性の高い仕事で消防団に必要とされていたからです。

躍している中で、本市においても、念願の女性消防団員が今年10月1日に誕生しました。

**期待される
女性消防団員の活躍**

女性団員の誕生は、明治43年に山形県酒田市に「婦人火防隊」が登場したことが始まりとされています。これは、当時の社会的背景として、男性の出漁、出稼、兵役などにより、男性不在状態が平常化するようになったことから女性による防火組織の結成が必要になったためとされています。「男女共同参画社会」という言葉が現代社会において言われるように、これまで、男性中心であった消防組織も、時代の変化に即して女性の能力を活用することが不可欠になっているといえます。

今回、市消防団に入団した女性消防団員は、主婦や保育士など12人。いずれも、家庭や地域、職場などでその経験を生かしたいと入団を意思したと言います。女性消防団員は、原則、火災などの災害活動には従事せず、主に火災予防啓発に取り組みます。高齢者などに対する防火指導や住民に対する応急手当の指導・

啓発などが平常時の活動となっており、近隣で発生した火災などについては、後方支援を行うこととなっています。

全国的に見ると、女性消防団員が手話を取得し、地元の視覚障害者への応急手当指導に当たったり、ホームページや広報紙を通して行う、生活者とのコミュニケーション活動や啓発活動など、幅広い活動が展開されており、女性消防団員の活躍が目撃されています。女性消防団員はここ数年で8千人ほど増加しており、今後ますますその活躍が期待されています。



継承される消防団の魂

火災や災害発生のお知らせを受け、昼夜を問わず現場に駆けつける消防団員。それは、仕事であらうと、就寝中であらうと関係ありません。火事を知らせるサイレンの音とともに、団員は動き出します。それは、愛する郷土を守るため、大切な人を守るため、災害現場に飛び込むということは、自分の命を危険に晒すということ。それは決して簡単なことではありません。1年を通じて行われる厳しい訓練は、愛する郷土を、大切な

人を守りたいという思いが、つてこそ実現できることなのです。

「自分たちのまちには自分たちで守る」という江戸時代から脈々と受け継がれてきた崇高なる消防団の魂は、ベテランの団員から若い団員へと、そして、また次の世代へとこれからも受け継がれていきます。地域を守るという使命と責任感が、消防団員の心を奮い立たせているのです。私たちが、安心して安全に暮らせるのも、私たちの身近な人が消防団員として日ごろから地域のために活動しているからなのです。

より機動力のある 消防団のあり方の模索

市消防団は、市町村合併と同時に、各地区の消防団を統合し、新たに「平戸市消防団」として発足。新団長には藤田法照氏（旧平戸市消防団長）、平戸地区団長に吉住威三美氏（旧平戸市消防団副団長）、生月地区団長に松永雅司氏（旧生月町消防団長）、田平地区団長に吉田優氏（旧田平町消防団副団長）、大島地区団長に村井美則氏（旧大島村消防団長）が就任、新たな体制で消防



防防災活動を展開しています。市消防団では、より機動力のある消防団のあり方を模索するため、10月2日に開催した幹部役員会において、「平戸市消防団組織等再編成委員会」を設置しました。

今回設置された委員会は、各地区から選出された12人の委員で構成。統合後3年をめぐりに調整する予定であった役員構成の見直しと、また、団員の高齢化や被雇用者の増加による団員の確保が困難な本市の現状から、組織の見直しも併せて検討されています。

同委員会では、平成20年度に市消防団に答申する予定で、市消防団の充実、強化を図る上で重要な指針となります。

TALK INTERVIEW

消防署と消防団が強固な連携を図り、 火災や災害からふるさを守りたい

本市消防団は、平成17年10月の市町村合併と同時に消防団も統合し、1団、34ヶ分団、条例定数1,079人の大組織に変革しました。しかしながら、過疎化、少子高齢化が進行している本市において、団員の高齢化、団員の減少が危惧されており、本市消防団の今後の大きな課題となっています。このようなことを踏まえ、打開策のひとつとして、男性中心で組織されていた本団に今年度、新たに女性団員12名の入団を決定し、予防広報活動をはじめ応急手当普及活動など、ソフト面の活動に期待しているところです。

また、今年度は、10月に大島出張所が開所し、全地区に常備消防が完備されたことから、以前にも増して、消防署と消防団が強固な連携を維持しつつ、火災をはじめあらゆる災害に対応していきたいと思っています。



平戸市消防団
藤田法照 団長
ふじた・ほうしょう (66) 紐差町

平戸市女性消防隊 第18回全国女性消防操法大会で 全国15位と大健闘！



10月25日、横浜市で行われた第18回全国女性消防操法大会に出場した、平戸市女性消防隊(7人)が、各都道府県の代表47チーム中15位という好成績を収めました。また、同隊の指揮者として参加した萩原八重子さん(木ヶ津町)が、優秀選手賞を受賞するという快挙を成し遂げました。

同隊は、平戸中部地区の主婦を中心に今年7月3日に結成。長崎県代表の名に恥じないよう、忙しい夜間に中部市民運動場に集まり、これまで約40回・80時間の練習に励んできました。受賞したみなさんは、「悔いの残らないよう頑張った結果が、15位という好成績につながりました」と感無量のご様子でした。

指揮者として全国1位！ 萩原さんが優秀選手賞を受賞！

事前説明会で、全国大会のビデオを見たとき、「あまりのレベルの高さに、私たちが参加するには場違いだ」と正直思いました。全国大会というプレッシャーに後押しされ、練習は全部で約80時間にも及びました。主婦としては忙しい夜の7時30分から2時間、県代表の名に恥じないようただただ頑張ってきました。大会当日は、これまでの練習の成果を十分に発揮することができ、全国15位という成績と、優秀選手賞まで受賞することができました。これまで、消防に対する意識はありませんでしたが、操法を始めてから、自分自身の中で消防に関する意識が変わってきたなと感じています。これを機に、今後も消防に関わることに積極的に参加したいと思います。



萩原八重子指揮者

はぎはら・やえこ(46)木ヶ津町



また、地域、学校やPTAなど、年間約80件(受講者数約3千5百人)にものぼる応急手当の普及指導にも、消防職員の補助的役割として参加します。

する関心の高さに驚きました」と松山里美さん。女性消防団員への市民のみなさんの注目も高く、パレードでは、多くの市民のみなさんが声をかけていました。

第一歩を踏み出した女性消防団員。今後、女性消防団員は、本格的に活動を始めます。一般家庭へ出向き、火気使用器具の点検や消火器の取り扱いなどを指導する防火診断、出初め式への参加、一人暮らし高齢者宅の防火指導、救命措置や応急手当を学ぶ上級救命講習の受講など、実にさまざま。

防火を呼びかける 婦人防火クラブの活躍

消防関係団体の一つに婦人防火クラブがあります。市内には、計8つのクラブがあり、約800人が所属しています。

婦人防火クラブでは、出初め式や防火パレード、街頭でのチラシ配りなど、年間を通じて火災予防啓発の活動に取り組んでいます。



中野婦人防火クラブ 松本フミ子さん

まつもと・ふみこ(59)下中野町

防火クラブの活動を通じて、防火に対する意識が変わりました。女性には特に炊事場で火を扱います。火の取り扱いなど、自分は大丈夫と思っていても何が起るかわかりません。「まさか」に備えて、市民のみなさん一人ひとりの心がけが一番大事だと思います。



TALK INTERVIEW

地域の一人として社会に 貢献したいと入団を決意しました

女性消防団員の募集については、広報ひらどで知りました。職場が保育園ということもあり、いざという時に何か役に立つのではないかと思つて職場の同僚と入団しました。女性消防団員として、初めて防火パレードに参加しましたが、たくさんの市民のみなさんから声をかけられ、女性消防団に対する関心の高さを感じました。また、それと同時に市民のみなさんの期待を

感じ、頑張らなければと責任を感じています。全国では1万人を超える女性消防団が地域の生命と財産を守るために頑張っているそうです。私たちの活動も、これから本格的に始まります。一般家庭への防火診断や出初め式への参加、そして3月には救命救急の講習を受ける予定です。私は、消防に関する知識や経験などはあまりありませんでしたが、この入団を

機に、学んだことを高齢者のみなさんや子どもたち、そして地域のみなさんに伝えたいと思っています。現在、女性消防団員は12人ですが、今後もっとこの輪が広がり、女性団員が少しずつ増えることを願っています。そして、私たちの暮らすまちが、火災や災害のない安心して暮らせるような地域になるよう、私も微力ながら頑張りたいと思っています。



平戸市消防団
松山里美 女性団員
まつやま・さとみ(25)木場町



第一歩を踏み出した 女性消防団員

女性消防団員の主な活動の一つに、火災予防啓発活動があります。全国秋季火災予防運動にちなみ、11月9日、平戸、生月、田平、大島の各地で、防火パレードが行われ、消防関係機関の職員を始めとする各種団体が参加し、延べ320人が火災予防を呼びかけました。

女性消防団員にとって、初の公での活動となったこの防火パレード。12人の女性消防団員は、真新しい制服を身にまとい、パレードの先頭に立って熱心に火災予防を呼びかけました。





平戸市消防本部
松尾茂廣 消防長
まつお・しげひろ(54)岩の上町

TALK INTERVIEW

安全・安心な生活環境を確保するため 消防行政の発展に取り組みます

昭和46年4月に発足した常備消防から平成17年10月の合併後、田平・大島地区の常備消防体制も、本年10月の大島出張所開所により、全ての地区に常備消防が整備され、1本部・1署・4出張所、職員75名の体制となりました。

今後、消防組織法の一部改正により消防広域化が推進され、併せて消防・救急無線のデジタル化、消防指令の共同運用など全国的に消防を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。

このような変ぼうの中、市町村合併により消防行政に対する住民の期待はますます大きくなり、多種多様化しています。市民が安全で安心して暮らせる生活環境を確保するため、火災や災害に迅速かつ的確に対応できるよう、「安全で安心なまちづくり」を目指して、積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

火の用心！
みんな
火の取り扱いには
注意してネ！



が起きてから慌てて対処しても、それは大変危険を伴います。もしもに備えて、日ごろからの心構えと、防火・防災に対する知識が必要となるのです。

万一、災害が起きたとき、地元住民の協力なしには被害を最小限に抑えることはできません。消防本部、消防団を核とした消防機関と地元住民、自治会単位で組織される自主防災組織、また、企業や各種団体などの自衛消防隊などとの円滑な連携、いわゆる地域の消防防災体制の確立が不可欠です。

しかし、地域消防防災の核を担う自主防災組織の結成状況は、わずか23・2%にとどまっています。自治会によっては、自治会区長や民生委

員を中心に、台風前の声かけなど防災時のコミュニケーションを図っている地区もあります。地域の消防力を高めるためにも、自主防災組織の結成が必要とされています。

守るべきもののために

火災や災害発生の知らせを受けると、真っ先に現場に駆けつける消防職員と地域の消防団員。日ごろの訓練は、愛する郷土や大切な人を守るため。消防職員や消防団員は、そのために流す汗を惜しみません。今日も私たちの暮らすまちでは、消防職員や消防団員が厳しい訓練に励んでいます。江戸時代から脈々と受け継がれる消防魂を胸に、すべては守るべきもののために…。

Topics02

自衛消防隊が初期消火の操法を競う 第17回初期消火操法競技大会を開催

市消防本部では、屋内消火栓や消火器の操作技術の習得、消防用設備の維持管理の徹底、防火意識の向上、自衛消防隊の強化を図るため、毎年、初期消火操法競技大会を開催しています。火災が発生した場合、消火設備を活用した初期消火活動は、火災鎮圧に重要な役割を持ちます。この大会では、各事業所・団体などの自衛消防隊が参加し、日ごろの訓練の成果を競い合っています。



For the things ought to protect

CHAPTER
04

消防防災体制の確立 万一の災害に備えて

一瞬の不注意ですべてが失われてしまう火災、そして、発生が懸念されるさまざまな災害。もしもに備えのないうちに「安全・安心」はない。消防署・消防団を核に、今、消防防災体制の確立が求められている。

災害や火災はいかなるときも待ってはくれない。地域の消防力の結集が、今まさに求められている。



忘れてはならない教訓

昭和43年1月、紺屋町で、死者2名、負傷者9名、民家12棟26世帯、約1,200㎡を全半焼するという痛ましい火災が起きました。俗に「紺屋町大火」と呼ばれる火災です。

また、昭和62年には、瞬間最大風速53・2m、被害総額56億7千8百万という猛威を振るった「台風12号」が本市を襲いました。

私たちの暮らしの中に、「絶対」という安全で安心な暮らしはありません。「想定もしないことが起こる」それが災



難です。これらの火災と災害からの教訓は、決して忘れてはなりません。今後、二度とこのような被害が起きないよう、日ごろからの備えが必要です。

地域消防防災体制の確立

「備えあれば憂いなし」という言葉があるように、もしもに備えのないところに「安全・安心」はありません。いつ起こるか分からない火災や災害、もしも火災が起きたら、もしも災害が発生したら、すべてはそのときのために消防機関は訓練に励んでいます。

しかし、一番大切なことは、市民のみならず一人ひとりが「防火・防災」を意識することです。火災や災害など

Interview

特別養護老人ホーム平戸荘
(連続17回出場)
筒井亜希子さん
つつい・あきこ(28)木ヶ津町

職場では毎月防火訓練が行われています。通常は消火機器などの操作のみですが、2、3か月に一度は実際に避難まで行う行動訓練を行っています。自宅では外出の際、必ず元栓を閉めるように心がけています。



たけだスピリッツ
(連続10回出場)
山添 美広さん
やまぞえ・よしひろ(30)田平町福岡免

初期消火操法大会に職場で参加するのは今回で10回目。その成果もあり、職場では全員消火機器の取り扱いができ、防火に対する意識も非常に高いです。私自身この大会に3回出場しており、職場での防火活動に役立っています。



平戸市の台所(財政)事情 をお知らせします

—平成18年度決算報告—

市の台所を支える予算はいったいどのように使われているのでしょうか？
市では、毎年2回「市の財政状況」を公表していますが、今回は、平成18年度の収支の状況、市有財産、市債の現在高などの決算状況についてお知らせします。
また、平成19年度の上半期(4月～9月)の予算執行状況についてもお知らせします。

平成18年度予算の決算状況

平成18年度一般会計の決算は、歳入219億2,185万円、歳出216億8,333万円で、歳入歳出差引2億3,852万円となっていますが、事業の繰り越しを行ったため、翌年度支出が決まっている分が9,020万円ありますので、1億4,832万円の黒字となっています。しかし、実際は基金(＝貯金)を使っていますので、実質的には赤字となっています。

平成18年度の当初予算では、この基金を14億4,000万円使わないと収支の不足を解消できない状況でしたが、交付税の増加(約7億3,000万円)や市有地の売却(約5,000万円)、人件費の減(約1億円)、そのほか経費節減や不要額(約3億円)などにより、最終的に貯金を使った額は2億6,000万円になりました。しかしながら、このまま基金を使い続けると、いつかはなくなってしまい、自治体としての機能が低下する恐れがあります。

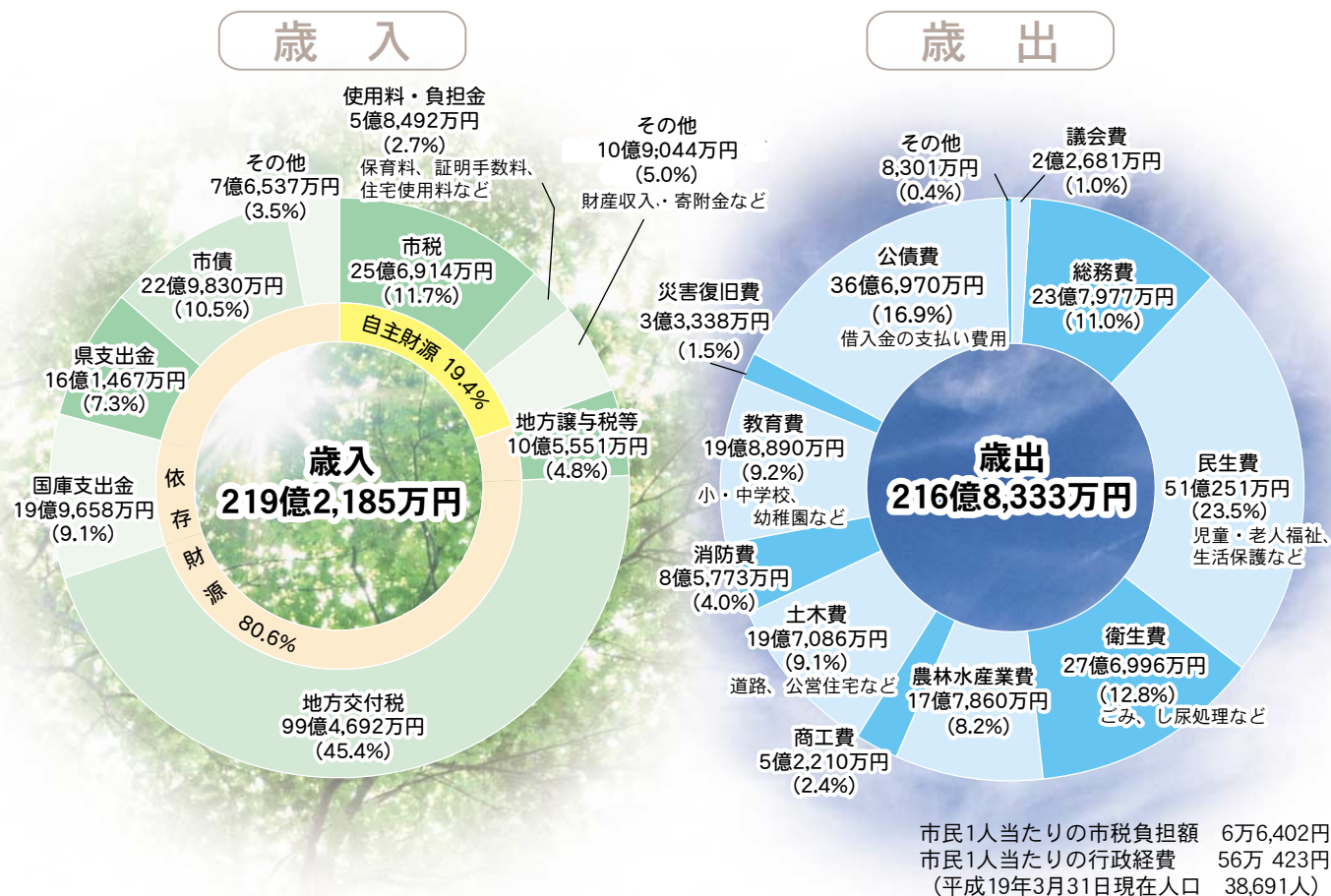
このため私たちは、「財政健全化計画」や「行政改革実施計画」、「職員適正化計画」を策定し、自主財源の確保に努める一方、人件費の抑制や事業の効果や必要性を見直すなど、歳入歳出のバランスをうまく考えながら今後の健全な財政運営に努めてまいりますので、市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ 財政課財政班(☎2354)



【用語解説】

- 繰り越し … その年度内に支出の終わらないものについて、翌年度に支出すること。
- 自主財源 … 市税や使用料など、市が自ら収納、徴収できる財源のこと。安定した行政運営のためには、歳入総額に対する割合が大きいほど望ましい。
- 依存財源 … 自主財源に対して、国県補助金や地方交付税など国や県の基準により交付されたり割り当てられたりする収入のこと。
- 市債 … 大規模な施設の建設や土木工事などを行うための資金を調達する手段として、国や銀行などから長期にわたってお金を借りること。



◎市債の現在高

(市民1人当たり 97万9,878円)

区 分	現 在 高	構 成 比
一 般 会 計	297億8,639万円	78.6%
水 道 事 業	28億5,186万円	7.5%
簡 易 水 道 事 業	24億8,932万円	6.5%
病 院 事 業	22億3,016万円	5.9%
交 通 船 事 業	2億2,750万円	0.6%
国 保 直 診	736万円	0.0%
農 業 集 落 排 水 事 業	1億7,680万円	0.5%
宅 地 開 発 事 業	2,569万円	0.1%
あづち大島いさりびの里	1億1,736万円	0.3%
合 計	379億1,244万円	100.0%

◎特別会計の決算

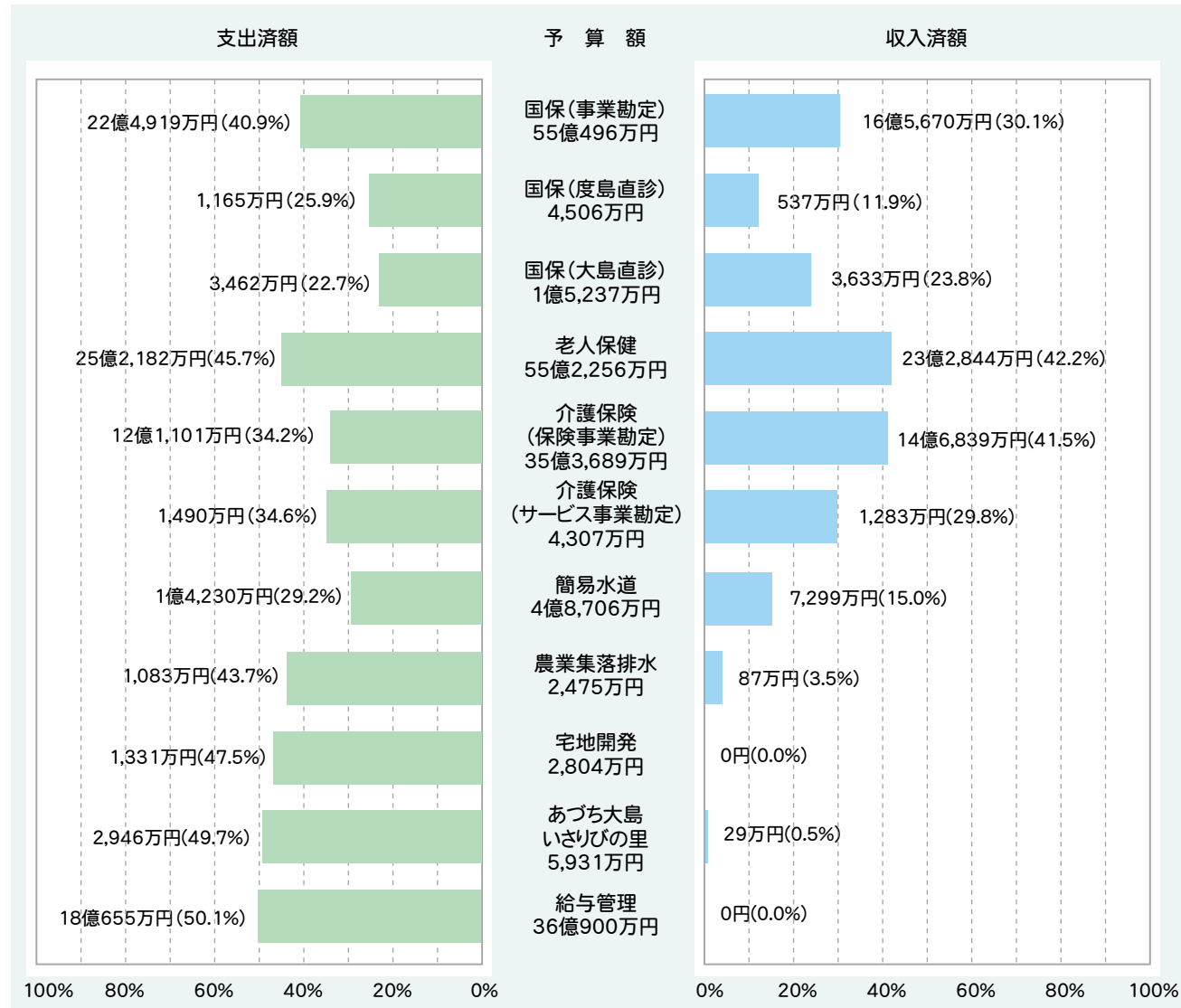
区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額
国民健康保険(事業勘定)	51億4,133万円	50億1,707万円	1億2,426万円
国民健康保険(度島直診勘定)	4,495万円	4,495万円	0円
国民健康保険(大島直診勘定)	1億4,227万円	1億4,227万円	0円
老人保健	55億3,584万円	55億3,584万円	0円
介護保険(保険事業勘定)	32億6,178万円	31億3,667万円	1億2,511万円
介護保険(サービス事業勘定)	2,550万円	2,548万円	2万円
簡易水道事業	9億5,918万円	9億5,850万円	68万円
農業集落排水事業	2,275万円	2,275万円	0円
宅地開発事業	4,356万円	4,356万円	0円
あづち大島いさりびの里	8,661万円	8,661万円	0円
給 与 管 理	37億3,504万円	37億3,504万円	0円

◎公営企業会計の決算

区 分		収 入	支 出	収入支出差引額	備 考
水 道 事 業	収益的収支	6億5,954万円	5億8,152万円	7,802万円	剰余金については、繰越欠損金に充当しました。
	資本的収支	4億8,125万円	7億3,787万円	△2億5,662万円	収入額が支出額に不足する額については、減債積立金および過年度分損益勘定保留資金で補てんしました。
病 院 事 業	収益的収支	21億 493万円	22億6,421万円	△1億5,928万円	欠損金については、翌年度へ繰り越しました。
	資本的収支	1億4,365万円	2億5,147万円	△1億 782万円	収入額が支出額に不足する額については、引継補てん財源、過年度分損益勘定保留資金で補てんしました。
交通船事業	収益的収支	1億7,303万円	1億7,303万円	0円	



◎特別会計



◎財産の状況

土 地	9.8km ²
建 物	253,348m ²
有価証券	1,355万円
基 金	54億5,013万円
債 権	3億 663万円
出 資 金	3億5,034万円
出 捐 金	1億 253万円
(H19.9.30現在)	

◎一時借入金の状況

平成19年9月30日現在は
ありませんでした。

◎市民一人当たりの 市税負担額の状況

総 額	7万2,986円
個人市民税	2万6,170円
法人市民税	3,377円
固定資産税	3万3,815円
軽自動車税	2,241円
市たばこ税	5,080円
入 湯 税	718円
そ の 他	1,585円

(H19.9.30現在人口 38,425人)

◎市債の現在高 (市民1人当たり 94万2,203円)

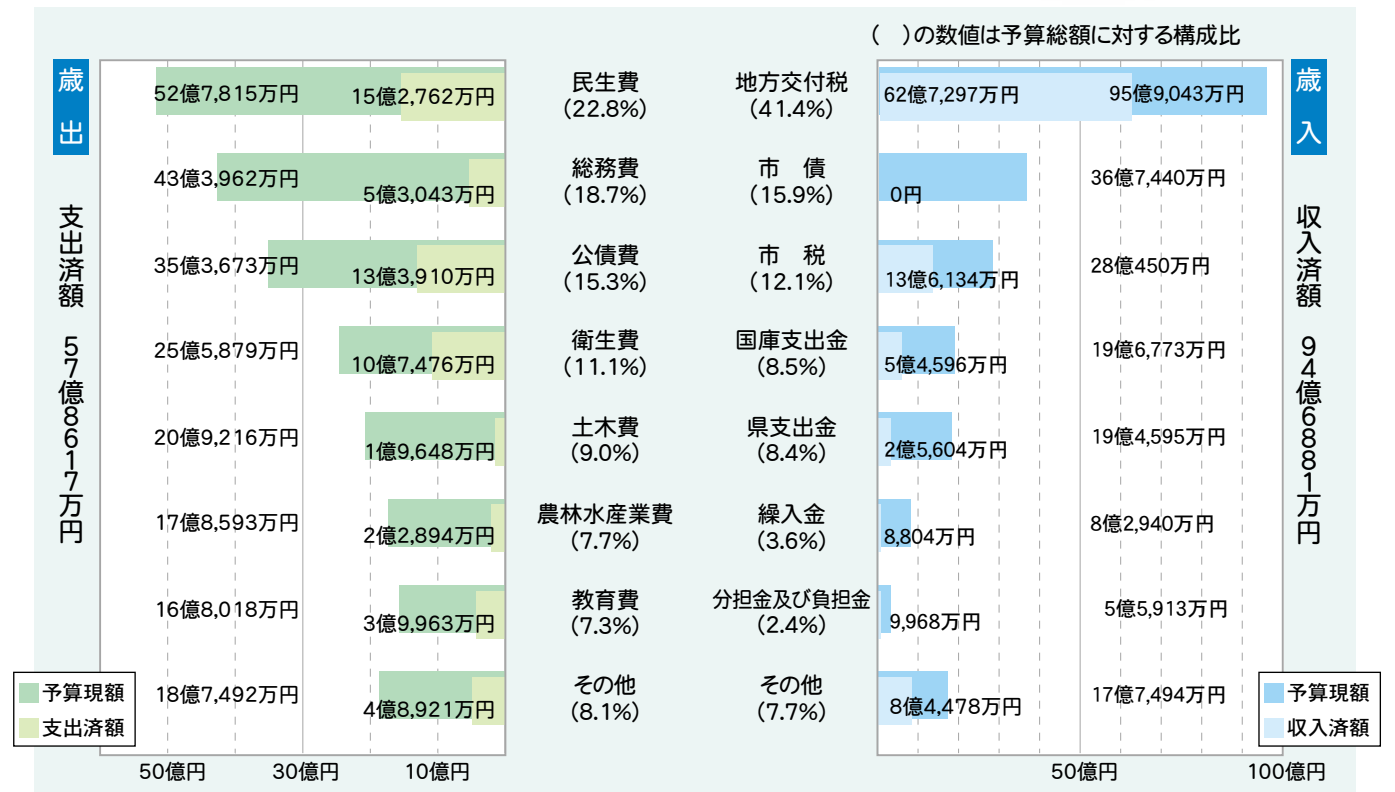
区 分	現 在 高	構成比
一 般 会 計	284億2,128万円	78.4%
水 道 事 業	27億3,404万円	7.5%
簡易水道事業	24億4,458万円	6.8%
病院事業(市民病院)	19億4,771万円	5.4%
病院事業(生月病院)	1億9,205万円	0.5%
交 通 船 事 業	2億2,750万円	0.6%
国 保 直 診	609万円	0.0%
農業集落排水事業	1億6,916万円	0.5%
宅地開発事業	1,285万円	0.0%
あづち大島 いさりびの里	9,452万円	0.3%
合 計	362億4,978万円	100.0%

平成19年度の予算の執行状況

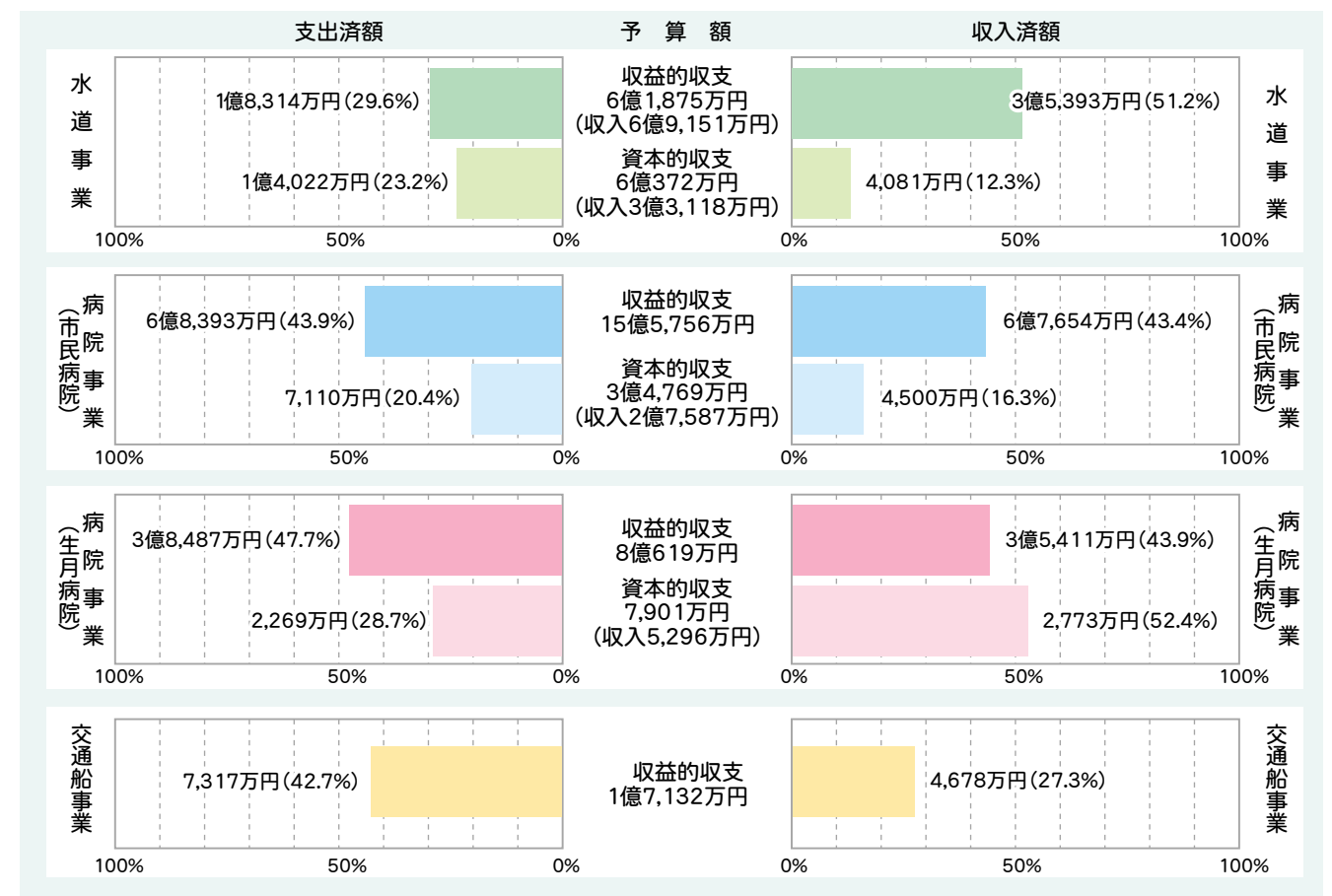
上半期の財政状況(4月～9月)

◎一般会計

予算額 231億4,648万円



◎企業会計





まえかわ あすか
前川 飛鳥さん (25歳・深川町)
「患者さんとのコミュニケーションを第一に考えています」

- 勤務先
医療法人医理会柿添病院
- ニックネーム
アスカちゃん
- 性格は？
朗らか
- 趣味・特技
旅行、ウォーキング、三味線

大学で薬学について学び、薬剤師の資格を取得した前川さんは、平成17年4月に柿添病院に就職。主に、病棟で入院患者さんの薬の調剤や説明を行っています。職場では、患者さんとのコミュニケーションを常に考え、話をしやすい明るい雰囲気作りを心がけているそうです。「窓口に来られるお客様と接する機会は少ないですが、病院内や街角で見かけることがあったら、気軽に声をかけてください」と笑顔で話してくれました。



☆☆☆ Happy Birthday ☆☆☆ ★お誕生日おめでとう！★12月生まれ



たくさんおしゃべりして、
たくさん遊ぼうネ！

いざわ ゆうた
井沢 祐太くん
(H16.12.23生)
～賢治さん・えり子さんの二男～
《田平町小手田免》



元気に素直で
思いやりのある子に育ってネ！

よしなが はるか
吉永 遥ちゃん
(H17.12.6生)
～政幸さん・祥子さんの長女～
《生月町南免》



たくさん笑顔をお礼を
明るく優しい子に育ってネ！

はりお かな
針尾 佳奈ちゃん
(H18.12.12生)
～久之さん・けい子さんの二女～
《岩の上町》

募集しています

「平戸のわっかもん」

平戸のまちで働く“わっかもん”を紹介します。自薦他薦は問いません。掲載を希望する人は下記までご連絡ください。

「クラブ紹介」

スポーツ団体や芸能団体など、平戸のまちで活躍するさまざまな団体を紹介します。私たちの活動を紹介して欲しい、など掲載を希望する団体は下記までご連絡ください。

「Happy Birthday」

発行月にお誕生日を迎える3歳までのお子さんを募集します。掲載は先着3人まで。申込み期限は発行前月の15日です。掲載のご予約は、お気軽に、お早めに。

○応募方法 写真にお子さんの名前(ふりがな)・生年月日・住所・電話番号・お子さんへのメッセージ・ご両親の名前を添えて郵送またはEメールにてご投稿ください。※写真は返却しません。ご投稿いただいた写真は必ずしも掲載されるとは限りませんのでご了承ください。

あて先 〒859-5192 平戸市岩の上町 1508 番地3 総務課広報広聴班 E-Mail kouhou@city.hirado.lg.jp

Town's People CLOSE UP! まちのひとびと Club Introduction

クラブ紹介

「平戸水彩画会」



「絵を描くことが大好きな仲間です」

平戸水彩画会は、昭和53年に日本水彩画会会員の村井喜次先生を指導者として活動を始め、今年で30年目を迎えます。日本水彩画展、長崎県水彩画展、県・市美術展覧会などに作品を出展し、多数の入選を果たしています。

また、公民館まつりなど地域のイベントにも出展しています。作品を出展することで会員の励みになり、お互いに技術を研鑽しています。平戸水彩画会では、現在会員を募集しています。

初心者の方も会員が初歩からやさしくお教えします。興味のある人はお気軽に見学に来てください。



活動DATA

活動日／毎月第1・第3土曜日
午後1時30分～午後4時
活動会場／北部公民館
対象者／どなたでもOK！
連絡先／代表宅 ☎23-3904
部員数／7人
参加費／年額 1,500円
代表／糟谷 進さん(戸石川町)

けんゆうかい「硯游会」



「書道を始めてみませんか？
初心者大歓迎です」

けんゆうかい 硯游会は、平成15年10月から活動し、5年目を迎えた書道クラブです。まず半紙での楷古から始まり、楷書、行書、草書と進んでいきます。これとは別に実用書、かな、ペン字も行っています。会の雰囲気はとても明るく、田代俊嶽先生の指導のもと、楽しく書道に励んでいます。会員の作品は、北部公民館まつりや県書道展などに出品しています。今年は田代先生の書作品展にも出展しました。

年賀状のあて名やのしを上手に書きたい人、きれいな字を書きたい人、さらには師範の免許の取得を考えている人、ぜひご連絡ください。



活動DATA

活動日／第1・2・4金曜日 午後1時～午後3時
活動会場／北部公民館
対象者／どなたでもOK！
連絡先／代表宅 ☎22-3836
部員数／9人
参加費／月額 1,500円
代表／澤 あゆみさん(鏡川町)



受章(賞)おめでとうございます

CONGRATULATIONS

各受賞者は 次のとおりです

県民表彰

【地方自治】

大畑 貞夫(生月町館浦)

【社会福祉】

岡村 湛子(鏡川町)

永田シズエ(紐差町)

【交通安全・防犯】

松田 弘(田平町本山免)

平戸市生涯学習まちづくり表彰

【団体】

平戸モラロジー事務所(代表世話

人 北川 新一)、山九株式会社

山九平戸錬成館(館長 坂本 國實)、

紙風船(代表 神田 紀子)、下里

エコクラブ(代表サポーター 里見

博明)

【地域】

下寺地区(区長 浦田 盛隆)

【個人】

有安 ジン(鏡川町)、吉田 六夫(志

々伎町)、鳥山 泰隆(生月町里免)、

谷 頼幸(田平町小手田免)

平戸市教育委員会表彰

【社会教育功労】

森山 諒(社会教育委員・津吉町)、

土肥 テイ(社会教育委員・大久

保町)

【社会体育功労】



この榮譽に恥じない
よう一層精進します

旭日双光章

元生月町議会議員
井元 達男さん(74)

昭和54年4月から7期
26年間生月町議会議員と
して、昭和51年5月から
21年間、生月漁協代表理
事組合長として産業振興
に尽力されました。



地域のみなさん
のおかげです

旭日小綬章

前県議会議員
青崎 寛さん(70)

昭和54年4月から5期
20年間、平戸市議会議員
として、平成11年4月か
らは2期8年、県議会議
員として市政・県政の発
展に尽力されました。



団員と家族の支えが
あつての受章です

瑞宝単光章

元平戸市消防団分団長
宮田 篤さん(79)

昭和27年1月に平戸市
消防団に入団以来、昭和
63年まで37年の長きに
わたり消防防災活動に従
事し、市民の生命財産を
守るため活躍されました。



家族みんな受章を
喜んでくれました

旭日双光章

元平戸市議会議員
七森 春敏さん(87)

昭和46年4月に平戸市
議会議員に当選以来、4
期16年の長きにわたり、
市政発展のため、特に教
育行政の推進に大きく貢
献されました。



思いがけない受賞に
驚きました

全国納税貯蓄組合 連合会優秀賞

瀬谷 隼人くん
(田平中3年)

(作文)
「一人一人に
目を向けて」



地域文化功労者 文部科学大臣表彰

大島村盆踊振興会 (岡村幸夫会長)

昭和47年の会設立以来、
「須古踊り」、「ジャンガラ」、
「流儀」、「六斎念仏」の保
存と継承に尽力し、地域
の文化財として、保護に
努めています。

松口 作義(元少年剣道クラブ指
導者・獅子町)
【文化功労】
神保 増夫(文化協会役員・鏡川町)、
中野 亨(文化協会役員・岩の上町)、
楠原 法子(文化協会役員・戸石
川町)、鴨川健次郎(文化協会役員・
戸石川町)
【優良児童生徒表彰】
永田 愛里(大島村前平)
【優良学校活動表彰】
中津良小学校(校長 永吉 章英)

平戸市美術展覧会(主な入賞者)

【平戸市長賞】

岡澤 清美(画の部・田平町山内免)、

秀野小枝子(書の部・鏡川町)、

吉島 和泉(写真の部・木ヶ津町)、

丹澤真理奈(工芸・岩の上町)

【市議会議長賞】

柿添由美子(書の部・岩の上町)

【市教育長賞】

掛屋大志朗(画の部・津吉小1年)、
柿添翔太郎(書の部・平戸中3年)

【市文化協会長賞】

吉木 逸子(画の部・岩の上町)、

赤木 友栄(書の部・上中津良町)、

森 藤雄(写真の部・崎方町)、

中村 真実(デザイン部の部・中部
中3年)

県体育協会

社会体育体育功労者表彰

門川 峯高(市体育協会副会長・
生月町里免)

平戸市体育協会体育功労者表彰

中島 善治(市相撲連盟・田平町
福岡免)、森 龍哉(市サッカー協
会・崎方町)、浦辺三十郎(市ゲ
ートボール協会・志々伎町)

社団法人

母子保健推進協議会長表彰

墨谷 弓子(生月町館浦)

「税に関する作文・ポスター」表 彰

【ポスター】

▼高校生の部

金崎 仁美(北松農業3年)、廣川
愛美(北松農業3年)

【作文】

▼高校生の部

松田奈菜美(猶興館1年)、川村
美絵(北松農業3年)、西川 美里(平
戸3年)、末永 貴洋(平戸3年)

▼中学生の部

山下 拓郎(平戸3年・現在は長
崎市立橘中学校に在籍)、萩原美
保子(中部3年)、井元 裕夏(度
島3年)、柴山 愛香(野子3年)、
白濱 梨美(生月3年)、富元 海大
島3年)、藤澤可奈美(中野2年)、
宮崎 美穂(南部3年)

県民体育大会成績

【優勝】

○団体 相撲(成年男子)

○個人 永田 栄二(空手道・成年
男子・形)



【準優勝】
○団体 ソフトテニス(成年男子)、
弓道(成年男子)
○個人 池下真知子(陸上・女子・
30歳未満100m)
【3位】
○団体 バスケットボール(一般
男子)、軟式野球(成年)、ラグビ
ー(一般)
○個人 大山 弘之(陸上・男子・
45歳〜49歳走幅跳)
【4位】
○団体 剣道(一般女子)
○個人 米倉 智晃(相撲・成年男
子)
(敬称略)

児童のみなさんが異文化交流

10月24日、紐差小学校で、「第17回ダービー校交流会」が行われました。これは米軍佐世保基地に勤務する米国人の家族が通うジャックNダービーエレメンタリースクールと同校が、お互い異文化や外国語に興味を持つように毎年行っているもので、今年17回目を迎えました。同校からは6年生20人、同スクールからは6年生25人が参加。歓迎会や昼食での交流などのほかに、相撲の対抗戦も行われ、土俵上では、真剣勝負あり、笑いあいの楽しい取組が繰り広げられました。



市内で初の社交ダンスパーティー

10月28日、平戸文化センターで、社交ダンススポーツパーティー大会 in HIRADO (NPO法人ひらど遊学ねっと主催) が開かれ、社交ダンスの愛好者など市内外から約100人が参加しました。同大会には、石橋健太・麻子先生を始めとする6人のプロダンサーも参加。ダンス講習会やミニコンペなどが行われました。ダンスタイムでは、参加したみなさんや石橋健太先生などプロのダンサーも交じって、ワルツやタンゴ、ルンバなどさまざまなダンスを楽しんでいました。



盲導犬に対する理解を！

11月5日、視覚に障害を持つ末吉信男さん(田平町里免)と盲導犬ヴィガーが白濱市長を表敬訪問。末吉さんは「市民のみなさんに、盲導犬に対する理解を深めてほしい」と話していました。ヴィガーは九州盲導犬協会が無償で貸与しており、同協会から盲導犬の貸与を受けたのは市内で初めてです。末吉さんは、NPO法人盲導犬育成支援の会・アロマ基金が主催する「第4回盲導犬フェスタ」(10月14日佐賀県嬉野市で開催)で、ヴィガーの貸与を受けています。



まちで盲導犬に出会ったら

盲導犬に出会った時、まず最初をお願いしたいことはそっと温かく見守っていただくことです。盲導犬が集中力を欠くと、安全に歩けなくなってしまう。後ろからそっと見守って、もし困っているようであればお手伝いをお願いします。

ご注意ください！

- 盲導犬ユーザーが安全に歩くために、下記のことは決してしないでください。
- ・盲導犬に声をかけたり、じっと前から見たり、口笛をならしたりしない
- ・食べ物を見せたり、あげたりしない
- ・盲導犬をなでたり、ハーネス(盲導犬の体に付けられた白い胴輪)を触ったりしない
- ・自分のペットと挨拶させようと近づけたりしない

※(財)九州盲導犬協会では、視覚障害者の人に盲導犬を無償貸与する活動を続けています。盲導犬育成の募金箱を市福祉事務所に設置しています。活動の支援にご協力ください。

新しい警察用船舶「ひらど」が就役

10月18日、平戸港ターミナルビル前浮桟橋で、平戸警察署配備の警察用船舶「ひらど」の就役式が行われました。昭和60年に配備されて以来、22年間稼働していた旧「ひらど」が老朽化したため、替わって就役したものです。

今回配備された同船は、アルミニウム合金でできており、全長18m、総トン数21トン、航行速度は約38ノット(約70km)で、最新鋭の設備サテライトコンパス、衛星船舶電話などを装備し、水上警察活動の要として、8月30日から稼働しています。



平戸城下が彩り豊かに

平戸の伝統行事・伝統芸能を活用した「平戸城下歌仙灯籠まつり」が、10月19日から同月30日までの間、平戸地区商店街を中心に開催されました。期間中は、しめ縄やまん幕などが装飾され、かつてにぎわいを見せた“おくんち”の雰囲気が醸し出され、夜神楽や田助ハイヤ節などが披露されました。

また、10月24・25日の両日の夜には、“おくんち”と合わせて「町屋くんち料理」が旧町区の拠点会場で観光客や市民のみなさんに振る舞われました。



13人が5人抜き達成!

10月21日、生月中学校体育館で、「第28回三地区青少年剣道生月大会」が開催されました。大会には市内外から77チーム404人が参加。小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生男子の部、中学生女子の部に分かれて、それぞれ5人対5人の勝ち抜きによる団体トーナメント戦を戦いました。

会場では、日ごろの稽古の成果を発揮した、緊張感溢れる試合が繰り広げられ、5人抜きが達成されると、応援に駆けつけたみなさんから大きな歓声が沸き起こりました。



健やかでやさしさあふれるまちに

10月21日、平戸文化センターで、平戸市福祉健康まつりが開催されました。高齢者疑似体験などの体験コーナーや各種相談コーナーのほか、絵本遊びや運動遊びなど、親子でふれあうイベントも行われ、約4,000人の参加者でにぎわいました。また、当日は、乳がんの早期発見や早期治療を啓発するピンクリボン運動の普及に努めている、本市出身の漫画家大山和栄さんによるミニ講演や、「五体満足」と題して車椅子バスケットボール選手川崎寿洋さんによる生涯学習講演会が行われました。



■平戸市保健センター(サン・ケア平戸) ☎28-1000
 ■生月支所市民協働課福祉保健班 ☎53-2111
 ■田平町福祉保健センター ☎57-0977
 ■大島支所市民協働課福祉保健班 ☎55-2511

『肝炎ウイルス検査』を受けてみませんか？
 県北保健所では、感染予防、早期発見および早期治療の推進を図ることを目的として、無料で血液検査を実施しています。

【検査内容】
 ○C型肝炎ウイルス検査(HCV抗体検査)
 ○B型肝炎ウイルス検査(HBs抗原検査)
 ※同時検査で、エイズ検査(HIV抗体検査)、クラミジア抗体検査もできます。

【検査対象】
 希望者(ただし、過去に肝炎検査を受けたことがある人は除く)で、年齢制限なし

【検査費用】
 無料

【検査の受付】
 月々金曜日の午前9時～午後5時30分
 ※事前に予約が必要です。
 匿名でも検査ができます。

【お問い合わせ】
 長崎県県北保健所
 地域保健課健康対策班
 ☎0950-57-3933

男性料理教室『男子厨房に入ろう会』を開催！
 男性の食生活自立をうながし、健康的に楽しく毎日を過ごす事を目的に、「男子厨房に入ろう会」を開催します。いままです握ったことがない人でも大歓迎です。楽しみながら挑戦してみませんか？1回のみの参加もできます。

【とき】
 第1回 12月15日(土)
 第2回 1月19日(土)
 第3回 2月16日(土)
 ※開催時間は、各回とも午前10時～午後1時です。

【ところ】
 北部公民館

【対象】
 男性

【定員】
 10人(先着順)

【材料代】
 300円(食材費)

【持参するもの】
 エプロン・三角巾・米1合

【お問い合わせ】
 平戸市保健センター(サン・ケア平戸)
 ☎28-1000



松本 榮子さん(79)
 (生月町老部浦在住)

大正琴、グラウンドゴルフ、手旗踊り、民謡保存会と、文化活動から体力作りまで、幅広く活動されています。また、自宅でも朝起きてから寝るまで健康に気を使った生活をされています。

●元気の秘訣●

朝晩はストレッチ運動、食事は品目を少しでも多く食べる。アルコールも適量飲んです。



Secret of Liveliness



富田 與三さん(87)
 (岩の上町在住)

奥さんと二人暮らしで、炊事、洗濯、掃除、買い物、奥さんの介護と、毎日頑張っておられます。

ここ数年病院にも入院しておらず、とても元気で生き生きと過ごされています。

●元気の秘訣●

達者だから長生きするとは限らないので、世の中の流れに身をまかせる。

新着図書紹介

みんなの図書館

このほかたくさんの新着図書があります!!

平戸図書館 ☎22-4017

[12月の休館日] 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日)
 天皇誕生日(23日・日)、年末図書整理(28日・金)
 年末年始(12月29日・土～1月3日・木)

『マギーの約束 赤い手袋の奇跡』
 著者名/カン・キングズベール
 出版社/集英社
 「お願いだからほくにパパを送ってください」8歳の男の子ジョーダンが神様宛に手紙を書くが…。父親のいない孤独な少年と愛を信じなくなった母、そして、出産時に妻と息子を失った男に起きた、聖夜の奇跡。

一般書
 図書館革命/有川 浩
 悦楽の園/木地雅映子
 さよなら、そしてこんにちには/荻原 浩
 龍の棲む家/玄侑 宗久
 頼山陽(上・下)/見延 典子
 命に値段つけます/渡辺 房男
 走ることにして語るときに僕の語ること/村上 春樹
 これを食べてはいけない/郡司 和夫
 大人のアトピー・アレルギー&皮膚の悩み相談室/永倉 俊和
 授乳時のケータイで子どもは壊れる/正司 昌子
 なぜ!あと5センチ!背が伸びなかったのか?/風本 真吾
 おでん大全/旭屋出版
 振袖記念日2009 あこがれの振袖入門/主婦と生活社
 花色あわせの基本/長堀 由美
 句読点、記号、符号活用辞典/小学館

『もめんのろばさん』
 著者名/降矢 なな
 出版社/ポプラ社

もうすぐクリスマス。ところが、けんの大切なぬいぐるみのろばさんが、おもちゃ屋さんに迷子になってしまいました!「けん、早く探して来て!」クリスマスに心をこめてあくる絵本。

児童書
 ゆきだるまくん、どこへいくの/たむらしげる
 プーンプーンひこうき/とよたかずひこ
 ザ・ボーン/田島 征三
 狂言えほん しどうぼうがく/青山 友美
 ことりはことりは木でねんね/チョン スニ
 サンタクロースとぎんのくま/マレーク・ペロニカ
 ふたりはクリスマスで/イローナ・ロジャーズ
 ベッキーのクリスマス/ターシャ・テューダー
 たんぽぽたんぽぽ/赤松まさえ
 涙のレンアイ@委員会/令丈ヒロ子
 風の陰陽師①きつね童子/三田村信行
 賢者の贈り物/オー・ヘンリー
 ほくの「生きる力」院内学級から小学校へ『直紀新聞』とどけます/あんずゆき
 愛ってなんだろう/渡辺えり子
 調べてみようふるさとと産業・文化・自然(全6巻)/農文協

●12月の主なもよおし●

■ミ二門松・風作り教室 15日(土)午後1時30分～
 北部公民館講座室・研修室
 ■おはなし会 毎週土曜日 午後2時～
 ■赤ちゃんおはなし会 11日(火)午前10時30分～

※市立図書館の本は、各公民館をとおして貸出や返却ができます。詳しくは、図書館・各公民館の図書室へお尋ねください。

永田記念図書館 ☎28-0128

[12月の休館日] 毎週月曜日(3日・10日・17日・24日)
 天皇誕生日(23日・日)、年末図書整理(28日・金)
 年末年始(12月29日・土～1月3日・木)

『私は三年間老人だった』
 著者名/バット・ムーア
 出版社/朝日出版社
 「我が身の欲することを人にもなせ」つまり我々若い者もいつかは、老人の世界に住むようになるという事実である。私たちが、両親や祖父母のためによりよい世界を作る努力をすれば、いつの日か私たちがその恩恵を受けるようになるのだ。

一般書
 絆/江上 剛
 相剋の森/熊谷 達也
 越境捜査/笹本 稜平
 湿地帯/宮尾登美子
 終生ヒトのオスは飼わず/米原 万里
 幸せ成功力を日増しに高めるEQノート/野口 嘉則
 「手紙屋」/喜多川 泰
 夫をうとましく思う妻の心がわかる本/柏木 恵子
 子どもの心の発達かわかる本/小西 行郎
 ガンが逃げ出す生き方/安保 徹・石原 結實
 ひさの痛み あなたに合った治療がわかる/守屋 秀繁
 更年期とホルモン補充療法/アン・マクレガー
 リフォームでワンフロアに暮らしを作る/島 弘子
 そうだ、葉っぱを売ろう! 過疎の町、どん底からの再生/横石 知二
 ■アパート経営のことならこの1冊/山本 公喜

『耳の聞こえない子がわたります』
 著者名/マーリー・マトリン
 出版社/フレーベル館

ミーガンは耳が聞こえませんが、とても元気で好奇心旺盛な子です。そんなミーガンが近所に引越してきたあつと内気なシンディと友達になります。それを見守る家族の温かさも伝わってくる一冊です。

児童書
 いろいろ ぼうし/谷川 晃一
 だれのくるま?/ニコライ・ポポフ
 ハバラさんのぼし/岡井 美穂
 はやく かえって こないかな/鈴木 永子
 キャベツ めキャベツ/土橋 とし子
 どっちもすき/またきけいこ
 あわてんぼうのニフトリねえさん/赤坂 三好
 じゃんのてがみ わんのてがみ/いもとようこ
 たびは みちづれ/五味 太郎
 いいから いいから②/長谷川義史
 うちのコロッケ/村上 康成
 クリスマスはドキドキ/ふゆのいちこ
 はれときどきアハハ/矢玉 四郎
 戦場にひびく歌声/メアリー・ポー・オズボーン
 ぐんぐん強くなる!陸上競技/尾藤 貢

●12月の主なもよおし●

(各土曜日・各午後2時～)

■おはなし会 (絵本・大型絵本・紙芝居など) 1日・15日
 ■映画会 8日
 ・まんが日本昔ばなし (きつね女房/としがみさま/など)
 ・イソップものがたり(アリとキリギリス/など)
 ■利用者の集い(クリスマス会) 22日

平戸オランダ商館風説書

～不思議な輸出品～

平戸オランダ商館から持ちだされた品物の中には、思わず首をかしげてしまうような品物が含まれています。それは醤油や梅干しなどですが、「何で外国人が？」と思ってしまいます。しかし、当時の状況を考えると、特別奇妙なものではないことに気がきます。

鎖国政策が行われる以前、日本人の海外渡航はとても活発でした。主な渡航先である東南アジアには交易や商売のために、あるいはキリシタン追放や、傭兵として雇われた者など、現地において日本人町が形成されるほど多くの日本人が海を渡ったのです。

もうお分かりのように、先の品物はこうした海外在住の日本人向けの品物であったと考えられます。

今のように、欲しいものがすぐには手に入らない時代、海外に住む日本人にはとても貴重で大切なものだったのでしょう。



▲積み荷の揚げ降ろしに利用されたオランダ埠頭

■お問い合わせ 文化遺産課和蘭商館復元推進室 ☎内線2635

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書は 年末調整や確定申告に必要です

■保険福祉課国保年金班 ☎内線2590 ■佐世保社会保険事務所 ☎0956-34-1141



国民年金保険料は、全額が社会保険料控除の対象です。

年末調整や確定申告で国民年金保険料を申告する場合は、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」の添付などが必要です。

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」は、11月上旬に社会保険庁から送付されていますので、申告の時まで大切に保管してください。

Q 「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」に記載されている月分以外の保険料を12月31日までの間に納付した場合は、今年分として申告できますか。

A 今年分として申告できます。「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」に記載されてる保険料額に、後から納付した保険料額を合算して申告してください。なお、後から納付した保険料分の「領収証書」も添付する必要があります。

■社会保険庁のお問い合わせ

控除証明書専用ダイヤル ☎0570-00-9911

[11月1日(木)～平成20年3月14日(金)・平日午前9時～午後5時]



県指定文化財 大航海時代の 歴史資料

Vol.26

オランダ船錨及び 付属文書

天明2(1782)年、川内港で船錨が引き揚げられました。この船錨は港から見ることでできる場所に置き去りにされていたもので、17世紀に入港していたオランダ船のものであると地元では伝わっていました。引き揚げたことを知った松浦家第34



文化財DATA

- 名 称 オランダ船錨及び付属文書
- 種 別 県指定有形文化財
- 指定年月日 昭和50年9月2日
- 管理者 松浦史料博物館
- 所在地 鏡川町

代清(静山)はこれを模写し、出島和蘭商館長イサク・テツシキに見せ、蘭文でオランダ船錨であるとの証明書を発行してもらっています。蘭文で書かれた証明書は、オランダ通詞本木栄之進により翻訳され、静山に上奏されています。証明書のほかに関連する書類が10点残っており、併せて指定されています。オランダとの交流を証明する重要な資料であるとともに、当時のオランダ語による文書はたいへん貴重なものです。

伝オランダ船 船首飾木像

木像は寛永13(1936)年平戸の貿易商小川理右衛門宗理が創建した小川庵の什物として伝えられ、明治43(1910)年には正宗寺に移り、軍省よりロンドンの世界博覧会に出品し、その後、松浦家に献納されたものです。2体が指定されており1体は高さ85cmで笛を吹く像、もう1体は高さ96cmで遠眼鏡のようなものを携えています。ともに一木作正面像でオランダ船の船飾に使われて

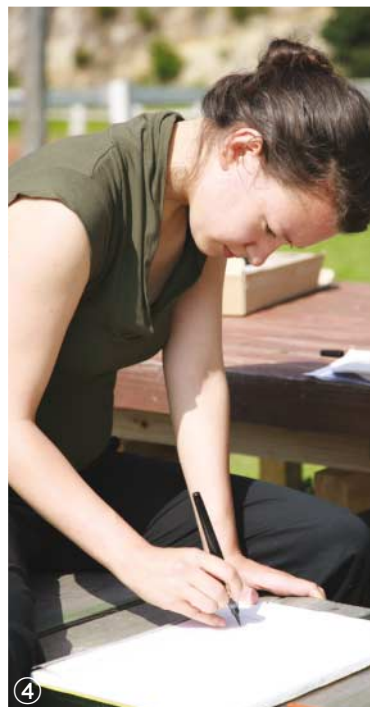
文化財DATA

- 名 称 伝オランダ船船首飾木像
- 種 別 県指定有形文化財
- 指定年月日 昭和43年4月23日
- 管理者 松浦史料博物館
- 所在地 鏡川町

いたものです。ユーモラスな表情がおもしろく、平戸における初期オランダ貿易時代の遺品として大変貴重な物です。その表情や服装から市民のみなさんにも親しまれ、キャラクター化されて道路のガードレールなどの飾りにも使われています。



12xHolland 2007



- ①ダンスグループのみなさんで「一階の下」を熱演
- ②アネリンデさん、絵を実演中
- ③志々伎小早福分校のみなさんでペインティング
- ④青空の下、絵手紙教室でスケッチ
- ⑤即興パフォーマンスを二人で熱演
- ⑥アネリンデさん、ペインティングを、絵を使って説明
- ⑦アンスさん、中野小の3・6年生のみなさんとダンス
- ⑧二人との別れを惜しむみなさん



今年の「12xおらんだ」のキーワードは、「Improvisation(即興)」。

アンスさんはモダンダンスの、アネリンデさんは絵画のワークショップで、よくこの言葉を使っていました。参加者のみなさんは、即興で何か表現するというところにかなりの戸惑いや抵抗があったようですが、「Improvisation(即興)」で自由に、自分の気持ちや自分の想像したことを表現することが、一番大切なことだと彼女たちは話します。そして発表会では、本事業の締め括りとしてアンスさんとアネリンデさんによるImprovisation(即興)をダンスとライブ・ペインティングを融合させるというより高度なパフォーマンスで表現し、市民のみなさんに芸術のすばらしさを教えてくれました。

キーワードは

『Improvisation(即興)』

12xおらんだ2007

お互いの「文化」に触れ、「こころ」に触れる
平戸とオランダの交流

Nederland



アネリンデ・デ・ヨングさん

アンス・カーネンさん



おらんだ

www.12xHolland.nl
12xHolland
Hirado, Japan

今年で8年目を迎えた 『12xおらんだ』

西暦2000年の「日蘭交流40周年記念事業」から始まり、今年で8年目を迎える「12xおらんだ」。オランダのさまざまな分野で活躍する芸術家や専門家を平戸に招いて1か月間滞在してもらい、その芸術をコミュニケーションの橋渡しとし、学校やサークル・各種団体とともにイベントやワークショップ、発表会などを展開しています。一方、日本の文化である書道や華道、空手道などを体験するなど、市民のみなさんとのさまざまな交流を通して、お互いの「文化」に触れ、「こころ」に触れる異文化交流事業となっています。



この事業は、市が市民のみなさんで組織された「12xおらんだ実行委員会」に委託し、オランダのアムステルダムにある「スタジオE」との共同企画によりさまざまな交流が実施されています。「12xおらんだ」の「12」には、1年間を通して12か月いとも、「X」には、回数・交流、そして限らない可能性という意味が込められています。

モダンダンスと絵画

今年は、アンス・カーネンさん(モダンダンス)とアネリンデ・デ・ヨングさん(絵画)の2人の芸術家が、平戸に1か月間滞在し、市民のみなさんと交流した「12xおらんだ」は、10月16日(是心寺)と10月18日(松浦史料博物館)での発表会で、すべての活動を終えました。発表会では、アンスさんの指導による猶興館高校体操同好会を中心としたダンスグループが、『一階の下』というタイトルでダンスを熱演しました。

また、アネリンデさんは、アトリエで製作した作品やワークショップなどで市民のみなさんが製作した作品を展示しました。このほか、A&A Duo Ding(アンスさんとアネリンデさんによる即興パフォーマンス)では、ダンスとライブ・ペインティングを融合させた新しい芸術を即興で披露し、無限に広がる芸術の可能性を示してくれました。

アートの息づくまちづくり 12xおらんだを終えて

西暦2000年に始まって今回で8回目。正式な招待者の人数は38人ですが、家族やパートナーを伴って来平された人も多かったのです。おそらくその倍くらいの数のオランダ人が平戸での暮らしを体験しています。平戸にオランダ商館があった当時のにぎわいに比べれば、現在はいともおよぶところではありませんが、この事業以前、まだほとんどの平戸市民にとって、オランダとの交流が歴史上だけの存在であったことを思えば、芸術家たちの活動が果たした役割は小さくありません。

彼らが多くの人々のみなさんと触れ合いながら、懸命の努力で蒔いた種が芽を出し、やがては実を結ぶように、土と水と光を整え続けることが、これからの私たちの役割ではないでしょうか。

12xおらんだ実行委員会

会長 町田 雅之



多重債務に陥る…。他人事だと思いませんか？

近年、多重債務の相談が増えています。多重債務に陥る原因で特に多いのが生活費に充てるための借金です。きっかけは、失業、転職、事故、入院、介護、転居や身内の慶弔事などの誰にでも起こりうる生活の変化です。

・急な出費の借入先にあてがない、とにかく現状を切り抜けたいという気持ちだけで簡単にお金を借りていませんか？

・ショッピングクレジットやローンも借金です。知人に頼まれて自分の名前を貸したら大きな債務だけが残ってしまったと悩んでいませんか？

・お金のことから他人に話しにくい、家族や親戚に知られたくない、少しずつ返すことができるかもしれないのでは、と思いませんか？

返済額のことを考えずに借入れを重ねると、気が付いたときには利子だけでも月々の返済額が自分の収入並みになり、ついには返済できない状態に陥ります。この状態を多重債務と言います。

多重債務問題は、必ず解決できます！

12月10日(月)から16日(日)まで、全国一斉多重債務者相談ウィークです。債務整理や生活再建に向けて、まずはこの機会に相談しましょう。

Q どこに相談したらいいの？

A まずは市観光商工課へご相談ください。問題解決のお手伝いをします。

Q 相談するときに必要なものは？

A 契約書やその他の書類、メモなどの覚書きがあると、相談がスムーズに進みます。また、相談内容によっては印かんが必要な場合もあります。

Q 本人ではありませんが相談できますか？

A はい。代理人のご相談でも受け付けますが、できるだけ契約者ご本人様に相談していただくことをお勧めします。

多重債務に陥らないために 次のことに注意しましょう！

- ①将来の収入の見通しは慎重に考える。
- ②返済できる計画が立たないお金は借りない。
- ③限度額までだからと安易にキャッシングしない。
- ④クレジットカードや消費者金融を利用するときは、金利計算を必ずやってみる。
- ⑤クレジットカードなどの枚数は、自分で管理できる範囲に止め、友人に貸さないなど自己管理を徹底する。
- ⑥友人・知人に頼まれても、安易に連帯保証人を引き受けない。
- ⑦返済のための借入れはしないのが鉄則。
- ⑧返済できなくなったら早めに家族や周囲の人などに相談する。

まずはご相談ください！

多重債務に関する
お問い合わせ・ご相談
観光商工課商工物産班 ☎内線2276

『一人でも悩まず、 まずは相談しよう』 多重債務

こころ豊かな人生と活力と温かみのあるまちの実現を目指して

「生涯学習都市宣言」

平戸市民生涯学習まちづくりフォーラム & 第2回平戸市公民館大会にて

11月17日、平戸文化センターで、市民のみなさんなど約700人が集い、平戸市民生涯学習まちづくりフォーラム&第2回平戸市公民館大会が盛大に開催されました。この大会は、本市の生涯学習推進を、市内外にアピールするために行ったものであり、生涯学習推進委員の神田紀子さんが「生涯学習都市宣言」文を読み上げ、その後、生涯学習まちづくり表彰などが行われました。

また、基調講演や市内の生涯学習実践者のみなさんによるレクチャーフォーラムも行われ、これから本市が目指す生涯学習社会の実現に向けて、新たな一歩を踏み出しました。



「平戸市生涯学習都市宣言」

わたくしたち平戸市民は
自然の恵みと海外との交流で栄えた歴史に誇りをもち
生涯にわたり楽しく学び
こころ豊かな人生を過ごすため
「学んでみよう そこには新しいあなたと まちキラリ」
をスローガンに
夢とゆとりをもって生き生きと暮らし
ともに支えあい
活力と温かみのあるまちの実現を目指して
ここに平戸市を「生涯学習都市」とすることを宣言します

生涯学習推進ロゴマーク決定

本市が推進している生涯学習のシンボルとなる、ロゴマークを一般募集したところ、全国から総数31点の応募がありました。ロゴマーク選定委員会で厳正なる審査を行った結果、次のロゴマークを最優秀賞(採用作品)に決定しました。



「平戸市」の頭文字「ひ」と緑の島々、周りを取り巻く海をモチーフにしたキャラクターで、生涯学習に励みステップアップする様子を描いています。

【ロゴマーク選考結果】 最優秀賞 松井 乾さん(滋賀県)、優秀賞 塩崎 栄一さん(大阪府)、川本 智さん(長野県)

生涯学習推進ロゴマークの愛称を募集します！

ロゴマークの愛称を募集します。本市の生涯学習推進にふさわしい親しみやすい愛称をつけてください。応募用紙は生涯学習課および各教委分室・公民館に用意しています。愛称と氏名、住所、電話番号を記入の上、郵送またはFAX、E-Mailにてご応募ください。発表は広報ひらど2月号にて行います。

応募締切 12月31日(月)当日消印有効

応募先・お問い合わせ

生涯学習課生涯学習推進班 ☎内線 2625 Fax22-2878

E-Mail shogai@city.hirado.lg.jp

地区	と き	と ころ	開式(受付)	お問合せ先
平戸	平成20年 1月13日(日)	平戸 文化センター	午後1時 (正午～)	生涯学習課 ☎内線2623
生月	平成20年 1月3日(木)	生月町開発 総合センター	午前10時 (午前9時～)	教委生月分室 ☎53-0541
田平	平成20年 1月4日(金)	田平 町民センター	午前10時30分 (午前10時～)	教委田平分室 ☎57-0207
大島	平成20年 1月4日(金)	大島村離島 開発総合センター	午前10時 (午前9時30分～)	教委大島分室 ☎55-2511

※現在本市に住所を有しない人でも、過去に住所を有した人であれば、参加できます。

○新成人該当者 昭和62年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた人

成人式のご案内

生涯学習課社会教育班
☎内線2623

左記の日程で、成人式を開催します。新成人に該当するみなさんは、ぜひご参加ください。

収集日の確認を！ 年末年始のごみ・し尿収集

市・市民課環境交通班
☎内線2528

年末年始のごみ・し尿収集は、収集日が通常とは異なっていますので、下表「ごみ収集カレンダー」で確認してゴミステーションに出してください。平戸地区では、年始に限り収集日が異なっていますのでご注意ください。12月30日から1月3日までは、各地区のごみステーションにごみを出さないでください。粗大ごみ平戸地区のみおよびし尿の汲み取りは、決められた期日までに予約をお願いします。現在「警告シール」が貼られているごみ袋は、各ステーション利用者の責任で12月16日までに再分別処理をお願いします。

『北松北部クリーンセンター からお願い』

①「燃えるごみ」には、金属類を混入しないでください。
②「飲料用のかん」「びん」「ペットボトル」は、蓋を外し中身を空にして出してください。特にタバコの吸い殻などを入れないでください。

◎年末・年始ごみ収集カレンダー

月日	曜日	平戸地区		生月地区		田平地区		北松北部 クリーンセンター 個人持込	大島地区		大島村 クリーンセンター 個人持込
		燃えるごみ 生ごみ	資源ごみ等	燃えるごみ 生ごみ	資源ごみ等	燃えるごみ	資源ごみ等		燃えるごみ	不燃ごみ	
12月23日	祝・日	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み
12月24日	振・月							受入可 9:00～12:00 13:00～16:00	平常収集		
12月25日	火										
12月26日	水	平常収集	平常収集	平常収集	平常収集	平常収集	平常収集		平常収集	山 的 大 根 坂	受入可
12月27日	木							※28日以降は生ごみ不可			
12月28日	金							※午後3時まで受入可			
12月29日	土	全地区収集		全地区収集		全地区収集					
12月30日	日										
12月31日	月										
1月 1日	祝・火	休 み		休 み		休 み	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み
1月 2日	水										
1月 3日	木										
1月 4日	金	月・木 地区収集		全地区収集		全地区収集	生ごみのみ	受入可 9:00～12:00 13:00～16:00	全地区収集	全地区 収 集	受入可
1月 5日	土	火・金 地区収集		休み			休 み	休 み			
1月 6日	日	休み				休み	休 み	休 み	休 み	休 み	休 み
1月 7日	月	平常収集		平常収集		平常収集		受入可	平常収集		受入可

◎一般廃棄物収集許可業者一覧(事業系を除く)

地区名	収集の種類	地 域 名	業 者 名	電 話 番 号	予 約 締 切
平戸地区	粗 大 ご み	北 部 地 域	(有)平戸清掃	☎23-2210	12月12日(水)までに予約が必要です。 1月4日(金)から平常収集となります。
		中 部 地 域	中部清掃(有)平田	☎28-2114	
		南 部 地 域	谷山清掃	☎27-0030	
		度 島 地 域	赤木衛生設備	☎25-2310	
	し 尿 処 理	北 部 地 域	(有)平戸衛生サービス	☎22-2497	12月15日(土)までに予約が必要です。 1月4日(金)から平常収集となります。
			下道清掃	☎22-2573	
		中 部 地 域	八木原清掃	☎28-1048	
		南 部 地 域	藤島清掃	☎27-0055	
	浄 化 槽 汚 泥 収 集	度 島 地 域	赤木衛生設備	☎25-2310	12月29日(土)まで収集を行います。 1月4日(金)から平常収集となります。
			(有)鶴丸設備 (有)松尾設備	☎23-3629 ☎22-3351	
生月地区	し 尿 処 理	生 月 地 域	(有)生月衛生社	☎53-2282	12月15日(土)までに予約が必要です。 1月4日(金)から平常収集となります。
		山 田 地 域	生月清掃事業所	☎53-0214	
	浄 化 槽 汚 泥 収 集		(有)生月衛生社 生月清掃事業所	☎53-2282 ☎53-0214	
田平地区	し 尿 処 理		(有)新北松衛生社	☎0956-65-2766	12月27日(木)まで受け付けます。 1月5日(土)から平常収集となります。
	浄 化 槽 汚 泥 収 集		(有)新北松衛生社 (有)吉田環境衛生設備工業	☎0956-65-2766 ☎0956-76-2351	12月29日(土)午前まで収集を行います。 1月5日(土)から平常収集となります。
大島地区	し 尿 処 理	神 浦 ・ 大 根 坂 前平・西字戸・的山	大島村クリーンセンター	☎55-2007	11月26日(月)～12月10日(月)までの間予約を受け付けます。 12月11日(火)～12月24日(月)までの間予約を受け付けます。
	浄 化 槽 汚 泥 収 集		(有)鶴丸設備	☎23-3629	12月29日(土)まで収集を行います。 1月4日(金)から平常収集となります。

◎市役所各課へは代表番号(☎22-4111)からお回しします◎

「MRI装置による診療を 始めました」

市・市民病院
☎28-1113

平戸市民病院では、12月1日からMRI(磁気共鳴画像撮影装置)による診療を始めました。

この装置は、磁石を利用して画像を撮影するため、放射線被ばくの心配がありません。

また、これまでのCT・レントゲン検査による画像では、診断が難しかった脳血管疾患や腰椎椎間板ヘルニアなどの脊椎疾患の早期

「特定公共賃貸住宅」 入居者募集

市・計画課総務住宅班
☎内線2283

特定公共賃貸住宅とは、所得制限によってほかの市営住宅に入居できない世帯のために建設された住宅です。入居を希望する人は、申込書に添付書類を添えて、都市計画課または各支所産業建設課にお申し込みください。

○募集戸数 1戸

生月地区 代作団地 1戸
○提出期限 12月17日(月)

発見・治療が可能になりました。
検査時間は、一般的な撮影で約20分前後です。詳しくは、市民病院へお尋ねください。

「空き地・空き家」の 管理をお願いします

市・市民課環境交通班
☎内線2527

平戸市では、近年過疎化が進み、市内に空き地や空き家が年々増加しています。手入れされていない空き地や空き家は、草木が生い茂り、ゴミが捨てられ、近隣住民のみなさんの迷惑になります。特に空き家については、不審者が侵入したり、シロアリなどの害虫が発生し、倒壊の恐れが出てくるなど、防犯・防災の面でも、近隣住民のみなさんにとって大きな不安の種になります。このような空き地や空き家でも、個人が所有している土地や財産については、市が管理することができません。所有者のみなさんは、衛生・防犯・防災などの観点から、適切な管理に努めてください。

また、市では、市内に移住を希望している人のために空き家を探しています。貸家としての活用も

考えてみてはいかがでしょうか。
貸家としての活用が可能な人は、ぜひご連絡ください。

「製造事業所のみなさんへ」 統計調査にご協力を！

市・企画課地域振興班
☎内線2338

工業統計調査を12月31日現在で行います。調査の実施にあたっては、本年12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密は守られますので、正確な記入をお願いします。

なお、本年から調査項目の一部を改正しましたので、調査票の記入にあたってはご注意ください。

「シライフひらどから のお知らせ」

市・シライフひらど
☎23-8351

▼12月から日曜日の営業時間を変更します

○利用時間 午前10時～午後5時
○期間 12月～3月

▼年末年始の休館日
12月29日(土)～1月1日(火)

◎市役所各課へは代表番号(☎22-4111)からお回しします◎

第5回長崎県ねりんピック
参加者募集

〒809-5847 長崎県佐賀市長寿財団
☎095・847・5212

ねりんピックは、県内の高齢者がスポーツと文化活動を通じて、明るい活力ある長寿社会を推進することを目的に開催されます。

▼スポーツ交流大会(18種目)

○とき 平成20年5月10日(土)

○ところ 諫早市周辺

○個人種目 卓球、テニス、ソフト

テニス、マラソン、弓道、剣道、

水泳、ボウリング、ターゲットパ

ードゴルフ

○団体種目 ソフトボール、ゲート

ボール、ペタンク、グラウンドゴ

ルフ、太極拳、ソフトバレーボ

ール、サッカー、わのわリング、ロ

ーンボウルス

○参加資格 県内に居住する60歳以

上(昭和24年4月1日以前生まれ)

の人

○参加料 1人当たり500円

○申込締切日 平成20年2月22日(金)

▼文化交流大会(2種目)

《ふれあい囲碁交流大会》

○とき 平成20年5月24日(土)

○ところ 県勤労福祉会館(長崎市)

○参加資格 県内在住の60歳以上および15歳以下のアマチュア愛好者

○参加料 1千円(弁当代含む)

○申込締切日 平成20年3月31日(月)

《ふれあい三世交代将棋大会》

○とき 平成20年5月18日(日)

○ところ 小浜老人福祉センター(雲

仙市)

○参加資格 県内在住のアマチュア

愛好者(年齢制限なし)

○参加料 1千円(弁当代含む)

○申込締切日 平成20年3月31日(月)

▼生きがい作品展

○とき 平成20年5月31日(土)～

6月2日(月)

○ところ 島瀬美術センター(佐世

保市)

○参加資格 県内在住の60歳以上の

アマチュア

○出展料 無料

※ただし、作品の搬入・搬出に要する費用は、出品者の負担となります。

○申込期間

平成20年2月1日(金)～3月31日(月)

※「長崎県ねりんピック」に関する申込み・お問い合わせは、市保険

福祉課長寿福祉班 ☎内線2586

でも受け付けます。

正月用寄せ植えづくり
教室を開催します

〒57-3348 大田区昆虫自然園
☎57・3348

持参した植木鉢に、樹木を中心に寄せ植えをします。ご家族での参加をお待ちしています。

○とき 12月22日(土)午前9時30

分～午後0時30分

○ところ たびら昆虫自然園

○対象 一般

○定員 10家族程度

○参加料 無料

※ただし、入園料がかかります。

○持参品 植木鉢(20cm以上の浅鉢)

を1鉢ずつ持参ください。1家族1鉢を

原則とします。

※事前に予約が必要です。

長崎県特産品新作展の
出展商品募集

〒809-5895 長崎県物産流通推進本部
☎095・895・2621

県では、ふるさと産業の振興を図るため、「長崎県特産品新作展」を開催します。創意と工夫にあふれた新しい特産品を一堂に集め、優れた作品について顕彰を行います。積極的にご応募ください。

ウォークとぎぼん
収穫体験を開催します

〒809-5895 長崎県物産流通推進本部
☎095・895・2621

田平町の名所を巡るコースを歩き、遊休農地の有効活用により実ったぎぼんを収穫します。

○とき 12月9日(日)・16日(日)

午前10時～午後3時

○ところ 田平公園駐車場(集合場所)

○参加料 大人1千円、小・中・高校生500円

※幼児は無料です

○定員 30人(先着順)

○コース 田平公園駐車場～瀬戸山教会～田平ぎぼん園(昼食)～たびら昆虫自然園～田平公園駐車場

○申込方法 開催日前日の正午までに電話でお申し込みください。

NHK学園平成20年度
入学生・受講者募集

〒804-2572 NHK学園
☎042・572・3151

NHK学園では、広域通信制高等学校、福祉通信教育および生涯学習通信講座の学生・受講者を募集しています。

▼高等学校普通科

○募集期間 平成20年2月1日(金)

～4月20日(日)

▼専攻科社会福祉コース(介護福祉士受験資格取得・2年制)

○募集期間

一次募集 12月20日(木)～平成20

年1月21日(月)

二次募集 平成20年2月20日(水)

～3月17日(月)

▼社会福祉士養成過程(社会福祉士受験資格取得・2年制)

○募集期間

一次募集 12月1日(土)～平成20

年1月23日(水)

二次募集 平成20年2月1日(金)

～3月5日(水)

▼生涯学習通信講座(趣味・資格)

○募集期間 通年

※案内書請求先フリーダイヤル

☎0120・06・8881

出生
元気な
よい子に

赤ちゃん 保護者 行政区

死亡
ご冥福を
お祈りします

氏名 年齢 死亡日 行政区

【平戸地区】

磯本 真緒 学 大野

川嶋 里穂 聡 飯良第1

長崎屋 秀一 秀一 魚の棚町

本山 里夢 義隆 坊方

吉田 啓人 好久 上大垣

大石 結心 俊孝 上中津良

藤山 隼輔 修一 大久保

伊藤 愛理 孝幸 飯良第1

納屋 彩那 智恵 宮の浦

徳山 真圓 正裕 神上

吉岡 壯治 博徳 向月

山西 輝希 康弘 田助浦

青崎 玲音 晋一郎 前津吉浦

【生月地区】

綾香 志歩 光二 館浦屋敷

堤田 翔 茂匡 元触

藤田 望愛 貴文 浦北

田中 悠盛 義明 元触

【田平地区】

川辺 名月 浩範 坊田

山田 優瞳 泰成 永田

品川 純人 利憲 下里

平田 直輝 和宏 小手田

浦添 匡 直樹 平戸口

山川 陽士 政幸 米の内

【平戸地区】

末永 言蔵 73歳 10/16 木ヶ津第1

江口 一夫 91歳 10/16 早福

杉山 久 76歳 10/16 戸石川

末永喜十郎 79歳 10/18 水垂

福田アヤノ 99歳 10/20 薄香浦

野元 キミ 88歳 10/20 田助浦

福田 ジン 88歳 10/22 木ヶ津第2

末永 イエ 93歳 10/23 野子

瀧下フジエ 69歳 10/26 薄香越

川口 悦子 66歳 10/27 下中津良

山野 キク 96歳 10/28 山野・白石

平田タミ子 82歳 10/28 根獅子第4

松本ツチ子 67歳 10/29 古江

池田 ノブ 90歳 10/31 船木

山浦 宏一 74歳 11/1 山中

赤木キミエ 77歳 11/3 獅子第2

立石 勇 75歳 11/5 大志々伎

竹田 實 85歳 11/7 幸の浦

近藤 ウメ 90歳 11/7 紐差第1

森 徳太郎 90歳 11/8 度島浦

廣瀬美千代 57歳 11/8 宮の浦

大石 力雄 74歳 11/9 薄香浦

田中 隆盛 88歳 11/10 獅子第1

井上八重子 70歳 11/10 度島浦

明石ツグエ 100歳 11/10 築地町

山崎 光男 85歳 11/11 野子

【生月地区】

青木 ユキ 92歳 10/12 浦北

神田 蜜治 93歳 10/17 御崎

松永 正満 57歳 10/18 浦南

福川いつ代 36歳 10/22 山田

久保 茂 78歳 10/30 館浦浜

藤田スマ子 68歳 11/2 館浦浜

森本 トヨ 92歳 11/4 元触

谷本 シヲ 85歳 11/12 山田

松本助太郎 92歳 11/12 浦北

濱本 トシ 91歳 11/13 彦部

神田 榮 81歳 11/14 彦部

吉川 勇 84歳 11/14 山田

【田平地区】

豊島 利子 72歳 10/25 下里

黒崎 一夫 91歳 10/28 永田

浦田トメ子 67歳 10/30 小手田

鷺淵忠太郎 96歳 11/2 釜田

石井 重 77歳 11/5 南荻田

山崎 ハル 80歳 11/11 深月

竹之内ヤス子 77歳 11/13 上里

【大島地区】

林田 加一 80歳 10/30 前平

田島 経廣 80歳 10/31 大根坂

田中 京子 68歳 11/1 前平

福田 リヤ 83歳 11/3 的山浦

善意のともじび

篤志および香典返して、次の方々からご寄付がありました(敬称略)。

ひらどふれあい福祉基金へ

○神奈川県秦野市 末永 善通(亡祖母 イエ)

○津吉町 野田 喜一(亡妻 文江)

10月の交通事故

件数 11件
死者 0名
負傷者 13名
(重傷) 1名 (軽傷) 12名

10月末までの
火災救急件数

火災 36件(22件)
救急 1,003件(1,041件)

() 内は昨年同期